

2. 関西圏の大学の分布状況

近年はキャンパス型大学の都心回帰が相次ぐ

- ・ 鉄道駅に近接した立地の良い場所に、キャンパス型大学が相次いで移転・開学する動きが見られる。
- ・ 一方、大阪市内には、キャンパス型大学の立地に適した、概ね1ha以上の(複数の)鉄道駅に近い交通至便な土地が少ない。

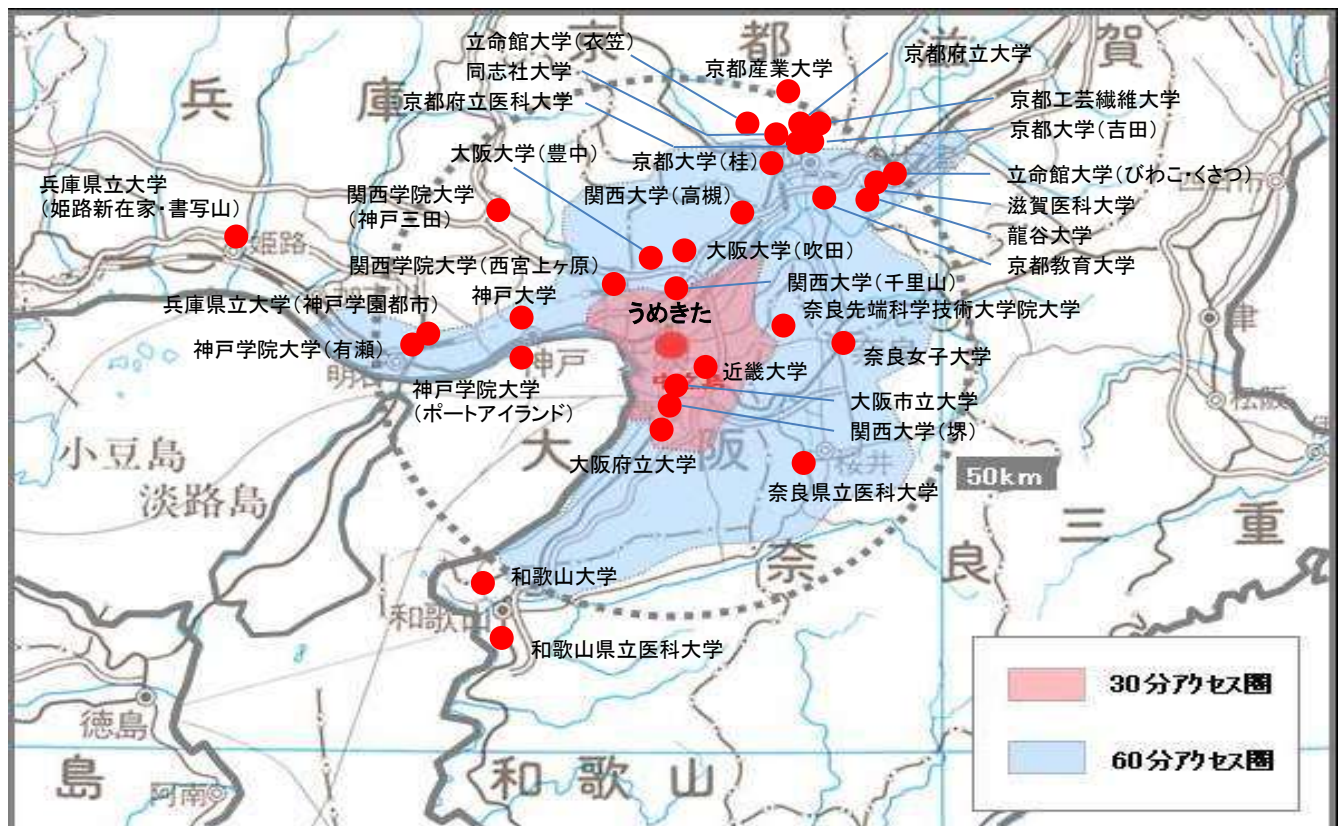
(交通至便な場所への移転・開学 近畿圏の事例)

・立命館大学	茨木 約99,000㎡	(H27年)
・関西大学	JR高槻 約17,000㎡ 小中高併設	(H22年)
・関西大学	南海浅香山 約28,000㎡ 人間健康学部	(H22年)
・同志社大学	今出川 約7,700㎡	(H24年)
・大和大学	吹田 約23,000㎡	(H26年)

50km圏内に主要な大学が密度高く集積

- ・ 関西圏の主要な大学は、うめきたから概ね50km圏内、60分アクセス圏に集積しており、交通網により結ばれている。

関西の主要大学の立地状況 (主要な国公立大学・私立大学を抜粋)



2. 関西圏の大学の分布状況

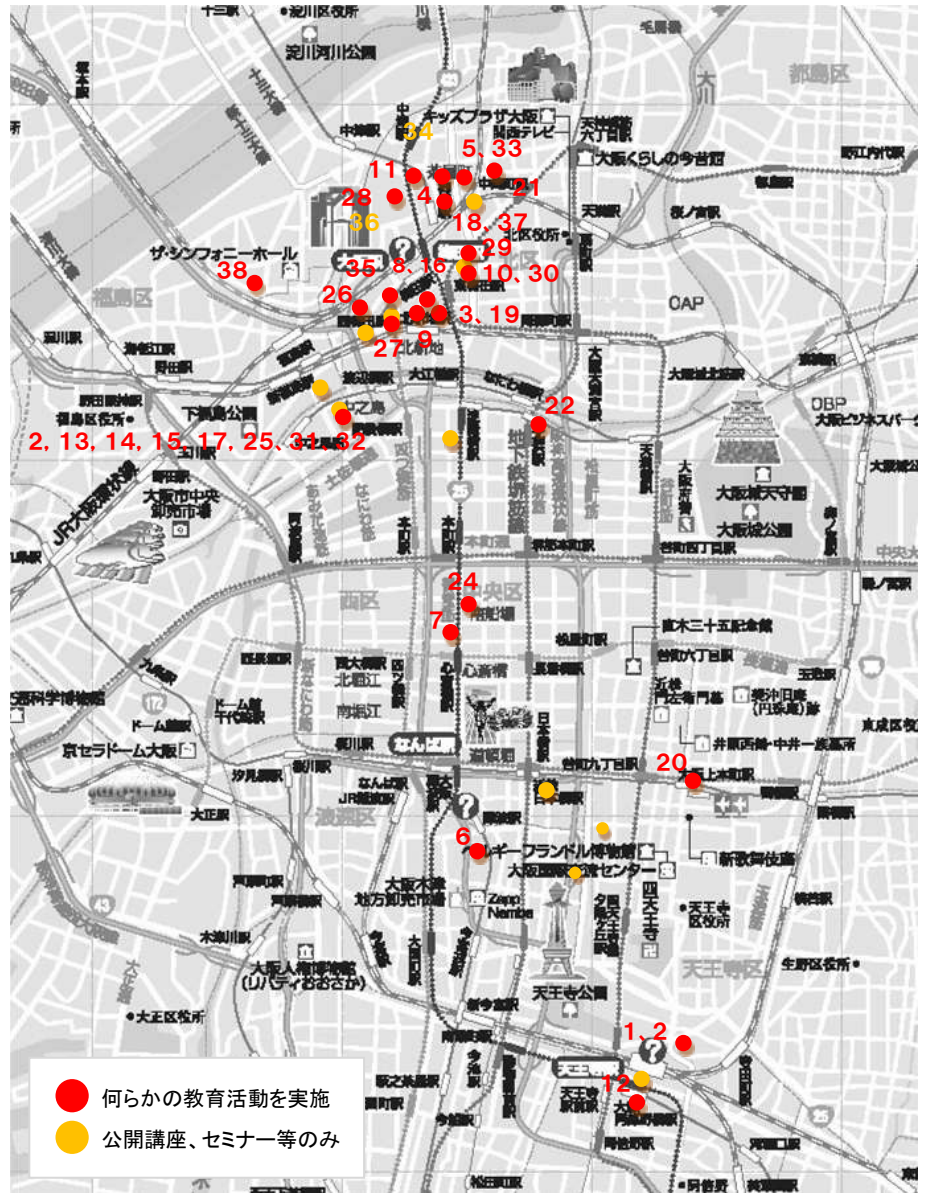
都心部にサテライトキャンパスが集積

- 大阪駅前に多数のサテライトキャンパスが集積。その他、中之島、天王寺駅前、その他都心業務地を中心に立地。
- 知的財産や経営学を学ぶビジネス分野の研究科や、市民向け講座、学生のキャリア支援などを行う大学院が多い。
- 関東や海外の大学のサテライトキャンパスも見られるが、主として関西の大学の拠点多い。

主要なサテライトキャンパス

	大学名
1	放送大学大阪学習センター
2	高知工科大学大学院サテライトキャンパス
3	大阪産業大学梅田サテライト
4	関西学院大学梅田K.G.ハブスクエア大阪
5	チチェスター大学大阪事務局
6	大阪府立大学なんばサテライト教室
7	英国国立ウェールズ大学経営大学院
8	関西大学梅田サテライト・オフィス
9	大阪市立大学梅田サテライト
10	立命館大学大阪梅田キャンパス
11	宝塚大学大阪梅田キャンパス
12	大阪芸術大学スカイキャンパス
13	大阪大学中之島センター
14	教育大学グループ連合大学院サテライトキャンパス
15	奈良女子大学大学院サテライトキャンパス
16	同志社大学サテライトキャンパス
17	大阪商業大学サテライトキャンパス
18	LEC東京リーガルマインド大学
19	テンブル大学ジャパンキャンパス大阪センター
20	関西福祉科学大学サテライト教室
21	デジタルハリウッド大学院大阪サテライトキャンパス
22	大阪経済大学北浜キャンパス
23	大阪教育大学大学院サテライトキャンパス
24	グロービス経営大学院大阪校
25	桃山学院大学サテライトキャンパス
26	常翔学園大阪センター
27	名古屋商科大学ビジネススクール
28	慶応大阪シティキャンパス
29	芦屋大学大阪キャンパス
30	京都造形芸術大学大阪サテライトキャンパス
31	徳島大学大阪サテライトオフィス
32	香川大学サテライトオフィス大阪
33	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ
34	上智大学大阪サテライトキャンパス
35	龍谷大学大阪梅田キャンパス
36	神戸芸術工科大学サテライトキャンパス
37	追手門学院大阪梅田サテライト
38	千里金蘭大学大阪梅田サテライトキャンパス

サテライトキャンパスの立地状況(一部)

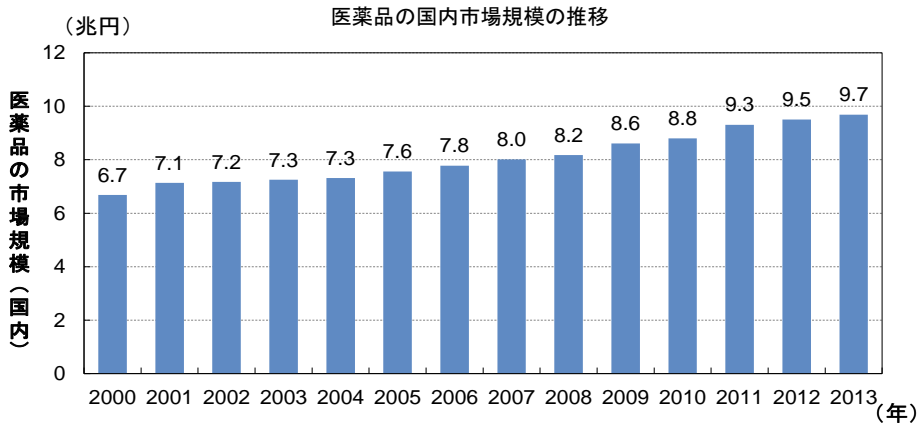


大阪市調べ(平成27年10月)

3. ライフサイエンス・ヘルスケア産業の動向

市場規模

- ・ 高齢化の進行により、国内外の医療市場は成長している。
- ・ 世界的にも高齢化は進行し、その結果医療分野の市場規模はさらに成長すると考えられる。

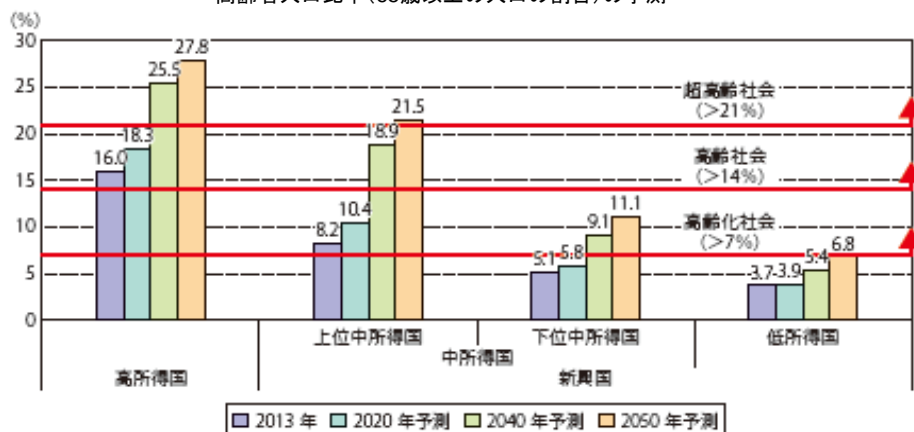


世界の医療機器市場の将来見通し



(資料)経済産業省 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室
「経済産業省における医療機器産業政策について」(平成27年11月)

高齢者人口比率(65歳以上の人口の割合)の予測



(資料)経済産業省「通商白書2015」

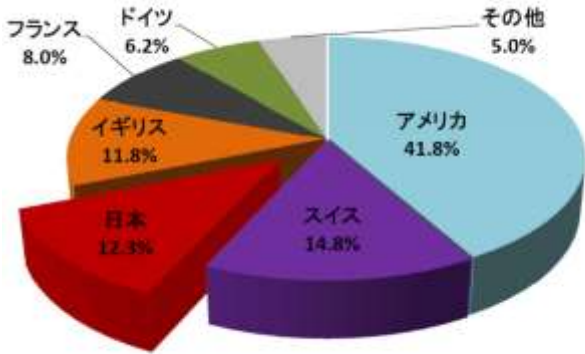
(出典)国連「World Population Prospects: The 2012 Revision」

3. ライフサイエンス・ヘルスケア産業の動向

日本の競争力

- 日本は、世界において数少ない創薬・医療機器開発ができる国である

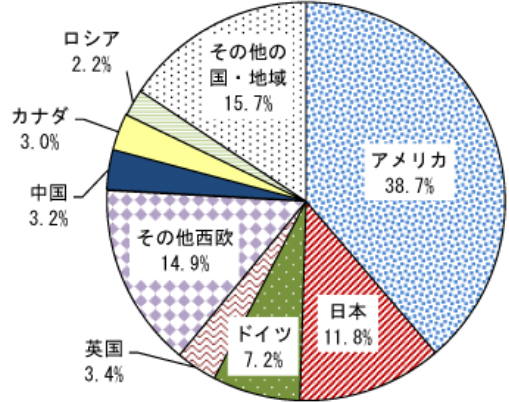
医薬品売上高上位30社(2011年)を国籍別にみた場合のシェア



出所:セジテム・ストラテジックデータ(株)「ユーロ・プレーン事業部刊」Pharma Future」

厚生労働省「医薬品産業ビジョン2013 資料編」(平成25年6月26日)

医療機器市場のシェア(2011年)



(資料)内閣府「世界経済の潮流(2013年)ー成長力回復への課題ー」(平成25年6月8日)

国内の背景

- 政府においてもライフサイエンス・ヘルスケア産業を重点産業と位置づけ取組を進めている

テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸

<目指す社会像>

予防から治療、早期在宅復帰による適正なケアサイクルを確立。

<具体策>

- 効果的な予防サービスや健康管理の実施により、健やかに生活し、老いることのできる社会に向け、健康寿命延長産業の育成、予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり、医療・介護情報の電子化の推進、一般用医薬品のインターネット販売などを実施します。
- 医療関連産業の活性化により、必要とされる世界最先端の医療器具が開発される社会に向け、医療分野の研究開発の司令塔機能(「日本版NIH」)の創設、医薬品・医療機器開発・再生医療研究を加速させる規制・制度改革、医療の国際展開などを実施します。
- 病気やけががなくても、良質な医療・介護へのアクセスにより、早く社会に復帰できる社会に向け、医療・介護サービスの高度化、生活支援サービス・住まいの提供体制の強化、ロボット介護機器開発5年計画の推進などを実施します。



市場規模:	国内 26兆円(2010年)、37兆円(2020年)※16兆円(現在)
	海外 11兆円(2010年)、15兆円(2020年)※16兆円(現在)
雇用規模:	160万人(2010年)、225万人(2020年)※171万人(現在)

(資料)首相官邸「新たな成長戦略 ~「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」~ 戦略市場創造プラン」HPより

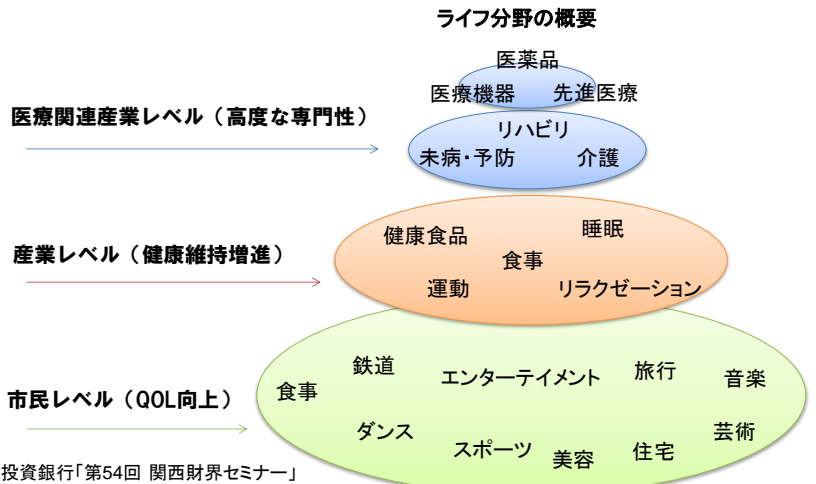
【ヘルスケア産業】市場規模(国内)現状4兆円⇒10兆円

【健康産業創出に関する施策パッケージ】



(資料)経済産業省「地域におけるヘルスケアビジネスの創出」(平成26年9月24日)

- ライフ分野には様々な領域が含まれる。裾野が広いため、市民の日常生活と密接に関わる分野も、ライフサイエンス・ヘルスケア分野の対象と捉えることができる。

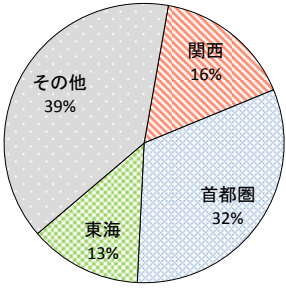


(資料)日本政策投資銀行「第54回 関西財界セミナー」(平成28年2月4日)より改変

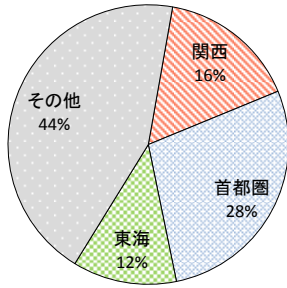
3. ライフサイエンス・ヘルスケア産業の動向

関西の産業構造

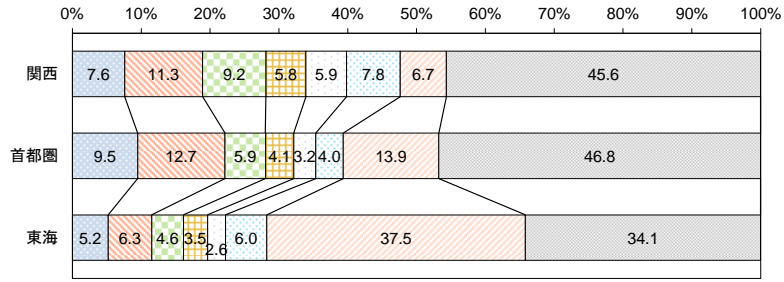
域内総生産の地域別割合



域内人口の地域別割合



産業別製造品出荷額の割合



(資料)内閣府「県民経済計算(2012年度)」

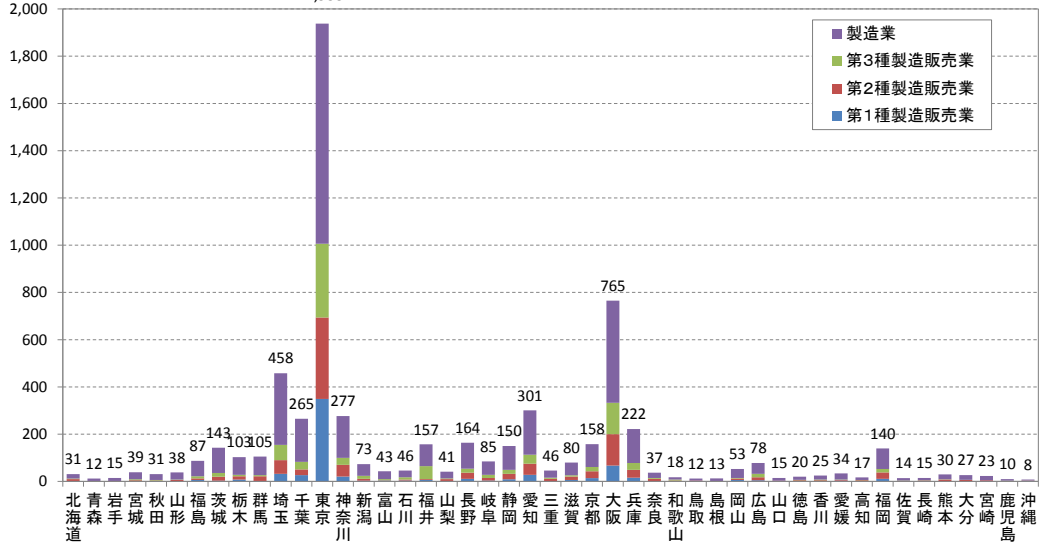
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(2012年)」

(資料)経済産業省「平成23年工業統計表」

【医療機器】

製造販売業許可事業所及び製造業許可事業所

(単位:業態数)

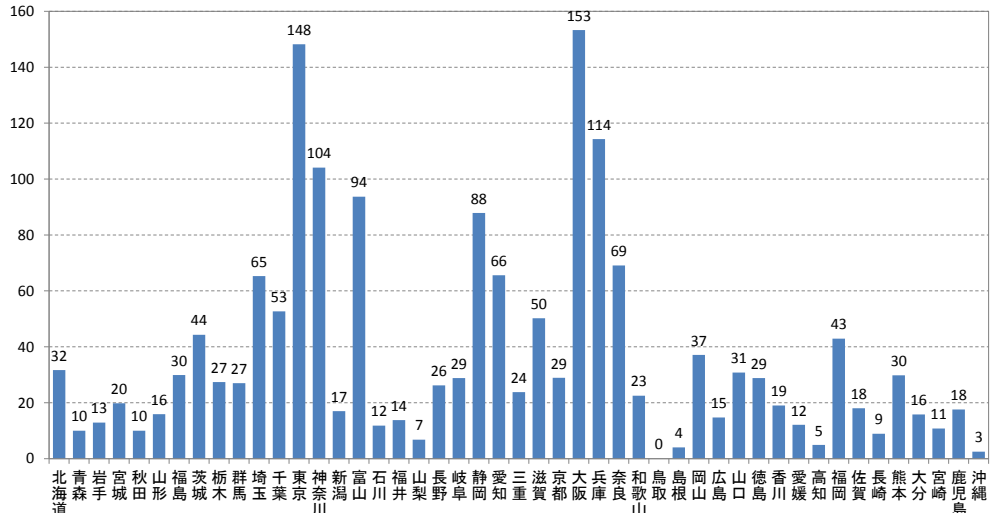


(資料)厚生労働省「薬事関係業対数調(平成26年度末現在)」

【医薬品】

都道府県別医薬品製造販売製造所数

(単位:ヶ所)



(資料)厚生労働省「薬事工業生産動態統計(平成25年)」